

滋賀県の自転車利用についてのアンケート結果

県では、平成 28 年 2 月 26 日に「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を施行し、条例に基づき各種啓発活動を実施しています。

今後の自転車の安全利用施策の参考とさせていただくため、県民の皆様の自転車利用に関する意識等をお聞きし、今後の取組の参考にしていくことを目的としてアンケートを実施しました。

★調査時期：令和元年 8 月

★対象者：県政モニター 399 人

★回答数：346 人（回収率 86.7%）

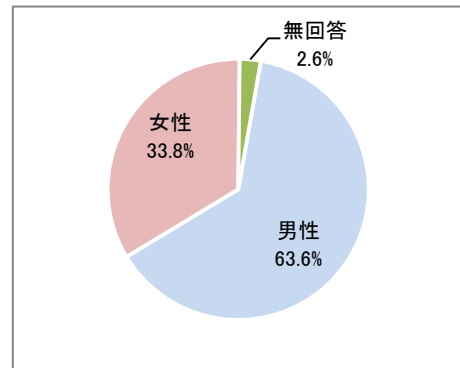
★担当課：土木交通部 交通戦略課

（※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。）

【属性】

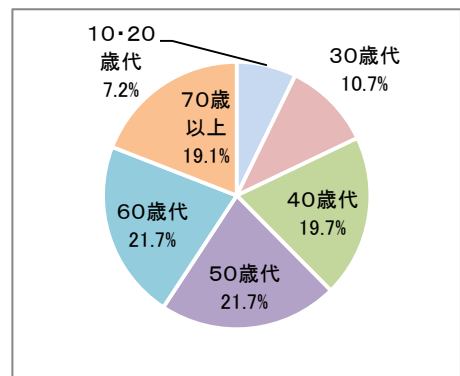
◆性別

項目	人数（人）	割合
男性	220	63.6%
女性	117	33.8%
無回答	9	2.6%
合計	346	100%



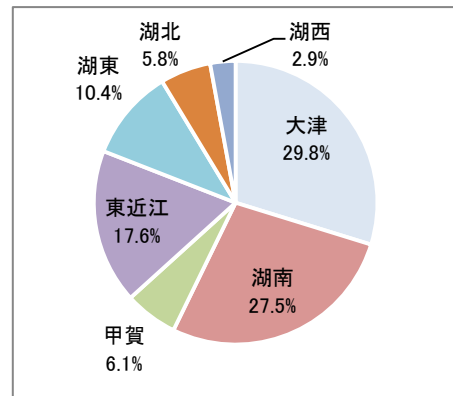
◆年代

項目	人数（人）	割合
10・20 歳代	25	7.2%
30 歳代	37	10.7%
40 歳代	68	19.7%
50 歳代	75	21.7%
60 歳代	75	21.7%
70 歳以上	66	19.1%
合計	346	100.0%



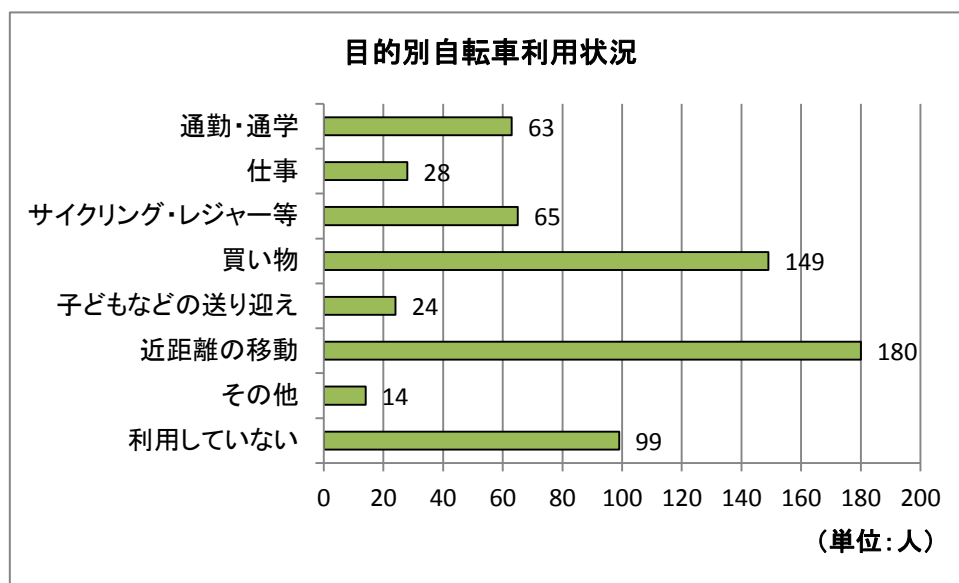
◆地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	103	29.8%
湖南地域	95	27.5%
甲賀地域	21	6.1%
東近江地域	61	17.6%
湖東地域	36	10.4%
湖北地域	20	5.8%
湖西地域	10	2.9%
合計	346	100.0%



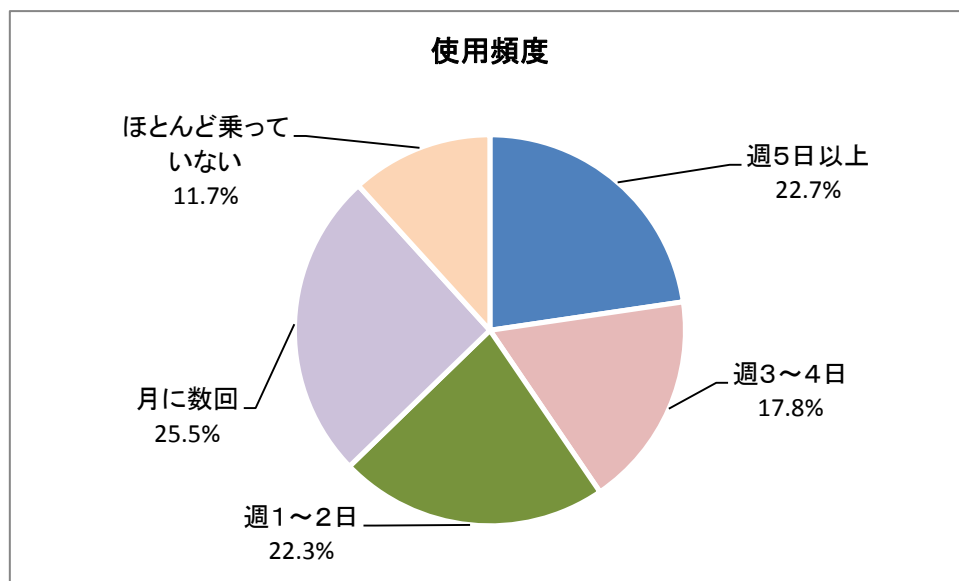
問1 あなたは、どのような目的で自転車を利用しますか。(「8. 利用していない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=346)

項目	人数(人)	割合
1. 通勤・通学	63	18.2%
2. 仕事	28	8.1%
3. サイクリング・レジャー等	65	18.8%
4. 買い物	149	43.1%
5. 子どもなどの送り迎え	24	6.9%
6. 近距離の移動	180	52.0%
7. その他	14	4.0%
8. 利用していない	99	28.6%



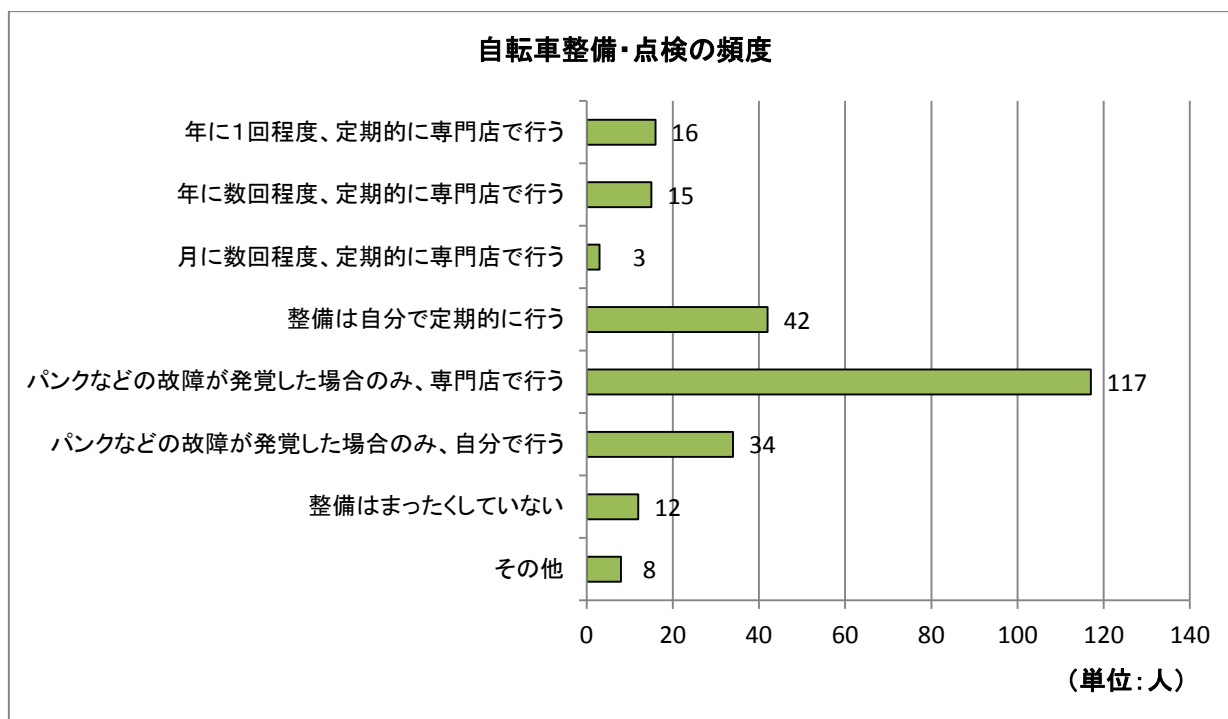
問2 問1で「1～7」を選択された方にお尋ねします。自転車をどのくらいの頻度で利用していますか。(回答チェックは1つだけ n=247)

項目	人数(人)	割合
1. 週5日以上	56	22.7%
2. 週3～4日	44	17.8%
3. 週1～2日	55	22.3%
4. 月に数回	63	25.5%
5. ほとんど乗っていない	29	11.7%
合計	247	100.0%



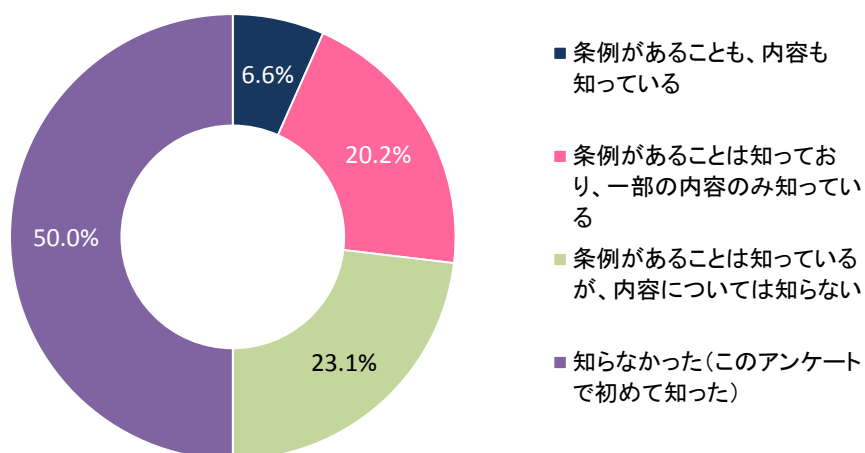
問3 問1で「1～7」を選択された方にお尋ねします。あなたの所有（または家族等で共有）している自転車をどの程度の頻度で整備・点検していますか。（回答チェックは1つだけ n=247）

項目	人数（人）	割合
1. 年に1回程度、定期的に専門店で行う	16	6.5%
2. 年に数回程度、定期的に専門店で行う	15	6.1%
3. 月に数回程度、定期的に専門店で行う	3	1.2%
4. 整備は自分で定期的に行う	42	17.0%
5. パンクなどの故障が発覚した場合のみ、専門店で行う	117	47.4%
6. パンクなどの故障が発覚した場合のみ、自分で行う	34	13.8%
7. 整備はまったくしていない	12	4.9%
8. その他	8	3.2%
合計	247	100.0%



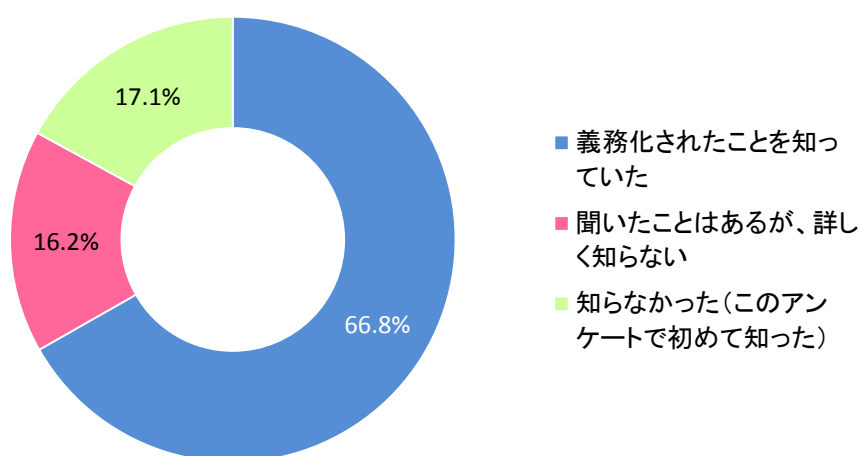
問4 あなたは、「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=346)

項目	人数(人)	割合
1. 条例があることも、内容も知っている	23	6.6%
2. 条例があることは知っており、一部の内容のみ知っている	70	20.2%
3. 条例があることは知っているが、内容については知らない	80	23.1%
4. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	173	50.0%
合計	346	100.0%



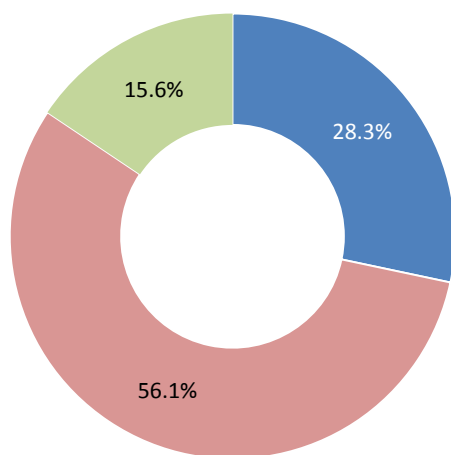
問5 滋賀県では平成28年2月26日に施行された「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で、自転車保険の加入が義務化（同年10月1日施行）されたことを知っていましたか。（回答チェックは1つだけ n=346）

項目	人数（人）	割合
1. 義務化されたことを知っていた	231	66.8%
2. 聞いたことはあるが、詳しく知らない	56	16.2%
3. 知らなかった（このアンケートで初めて知った）	59	17.1%
合計	346	100.0%



問6 自転車運転中の加害事故の被害者に対する賠償に備えた保険について、「自転車保険」という名称が付いているものだけでなく、自動車保険や火災保険などに付帯しているものがあることを知っていますか。（回答チェックは1つだけ n=346）

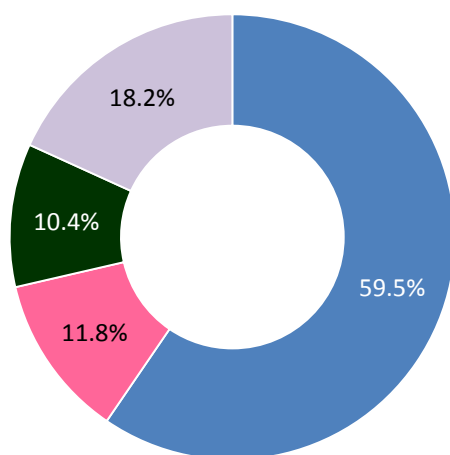
項目	人数（人）	割合
1. さまざまな種類の保険があることや内容まで詳しく知っている	98	28.3%
2. さまざまな種類の保険があることは知っているが、内容までは詳しく知らない	194	56.1%
3. 知らなかった（このアンケートで初めて知った）	54	15.6%
合計	346	100.0%



- ささまざまな種類の保険があることや内容まで詳しく知っている
- ささまざまな種類の保険があることは知っているが、内容までは詳しく知らない
- 知らなかった(このアンケートで初めて知った)

問7 自転車運転中の加害事故の被害者に対する賠償に備えた保険に加入していますか。(回答チェックは1つだけ n=346)

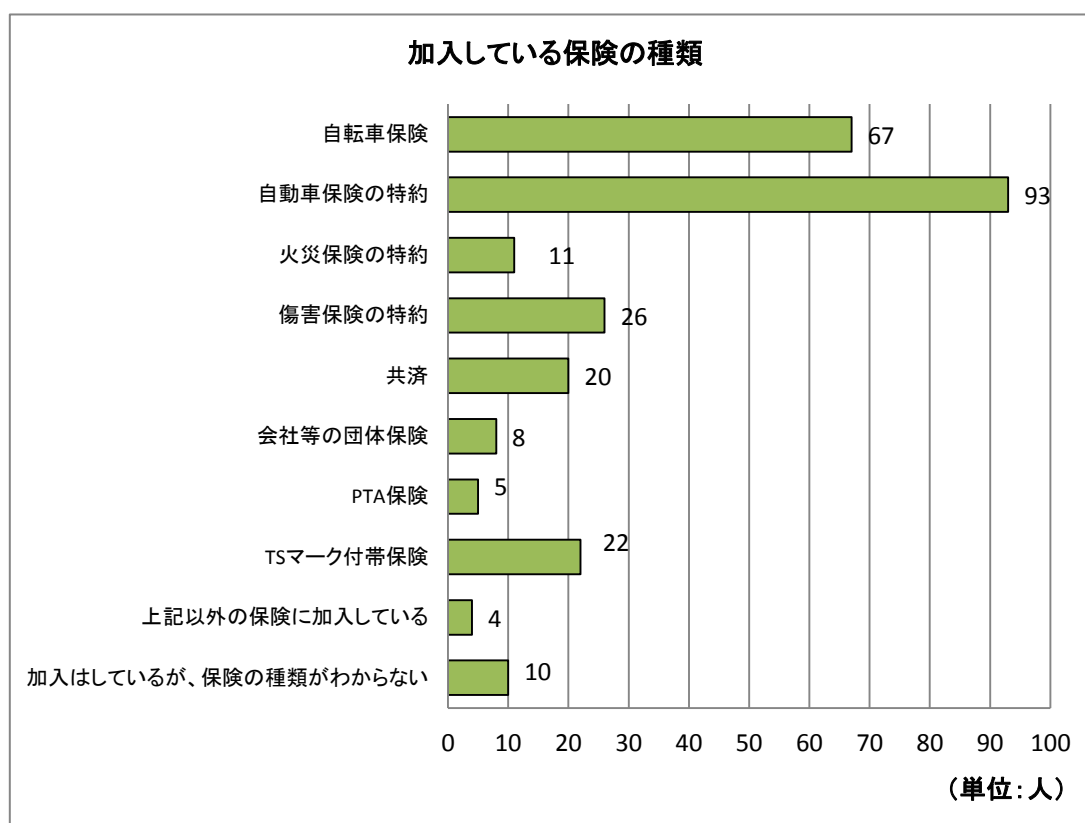
項目	人数(人)	割合
1. 加入している	206	59.5%
2. 自転車を持っているが、加入していない	41	11.8%
3. 自転車を持っているが、加入しているかわからない	36	10.4%
4. 自転車を持っていない	63	18.2%
合計	346	100.0%



- 加入している
- 自転車を持っているが、加入していない
- 自転車を持っているが、加入しているかわからない
- 自転車を持っていない

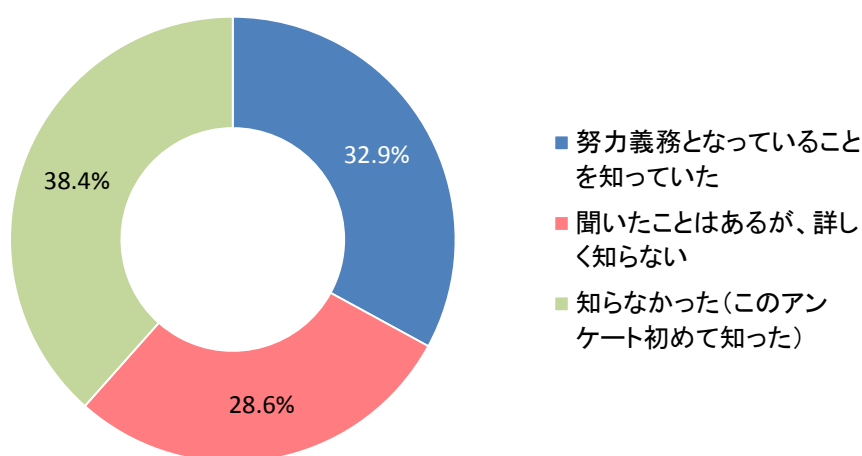
問8 問7で「1 加入している」を選択された方にお尋ねします。加入している保険の種類は何ですか。（「10. 加入はしているが、保険の種類がわからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=206）

項目	人数（人）	割合
1. 自転車保険（個人賠償責任保険）	67	32.5%
2. 自動車保険の特約（個人賠償責任保険）	93	45.1%
3. 火災保険の特約（個人賠償責任保険）	11	5.3%
4. 傷害保険の特約（個人賠償責任保険）	26	12.6%
5. 共済（全労済、その他共済など）	20	9.7%
6. 会社等の団体保険（団体の構成員向けの保険）	8	3.9%
7. PTA 保険（PTA や学校が窓口の保険）	5	2.4%
8. TS マーク付帯保険（自転車安全整備士が点検整備した自転車に付帯した保険）	22	10.7%
9. 上記以外の保険に加入している	4	1.9%
10. 加入はしているが、保険の種類がわからない	10	4.9%



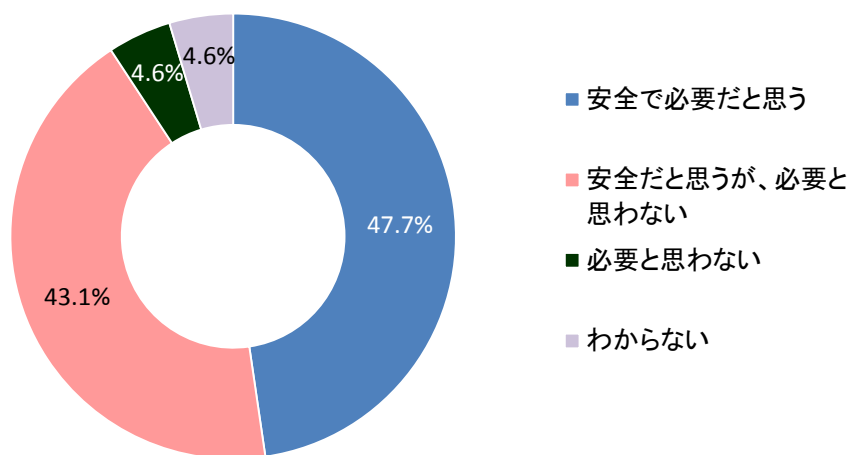
問9 「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で、保護者が幼児・児童・生徒が自転車に乗車するときは、ヘルメットを着用させることが努力義務になったことを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ n=346)

項目	人数(人)	割合
1. 努力義務となっていることを知っていた	114	32.9%
2. 聞いたことはあるが、詳しく知らない	99	28.6%
3. 知らなかった(このアンケート初めて知った)	133	38.4%
合計	346	100.0%



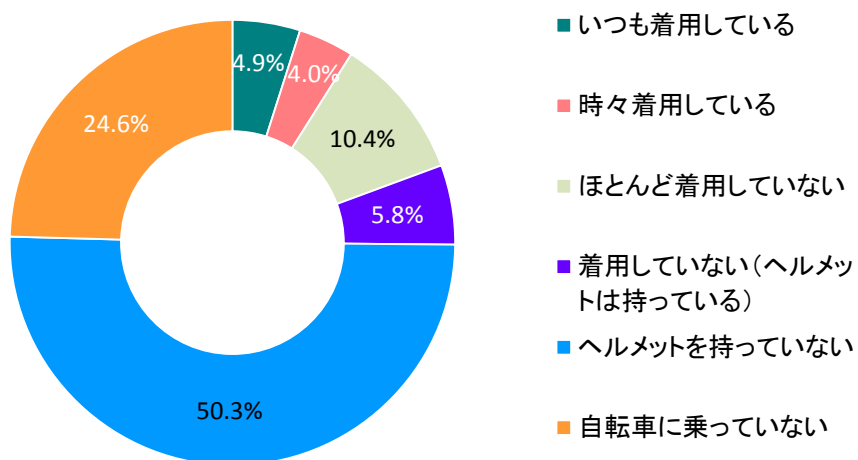
問10 あなたは、自転車に乗る時、ヘルメットを着用することは安全で必要だと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=346)

項目	人数(人)	割合
1. 安全で必要だと思う	165	47.7%
2. 安全だと思うが、必要と思わない	149	43.1%
3. 必要と思わない	16	4.6%
4. わからない	16	4.6%
合計	346	100.0%



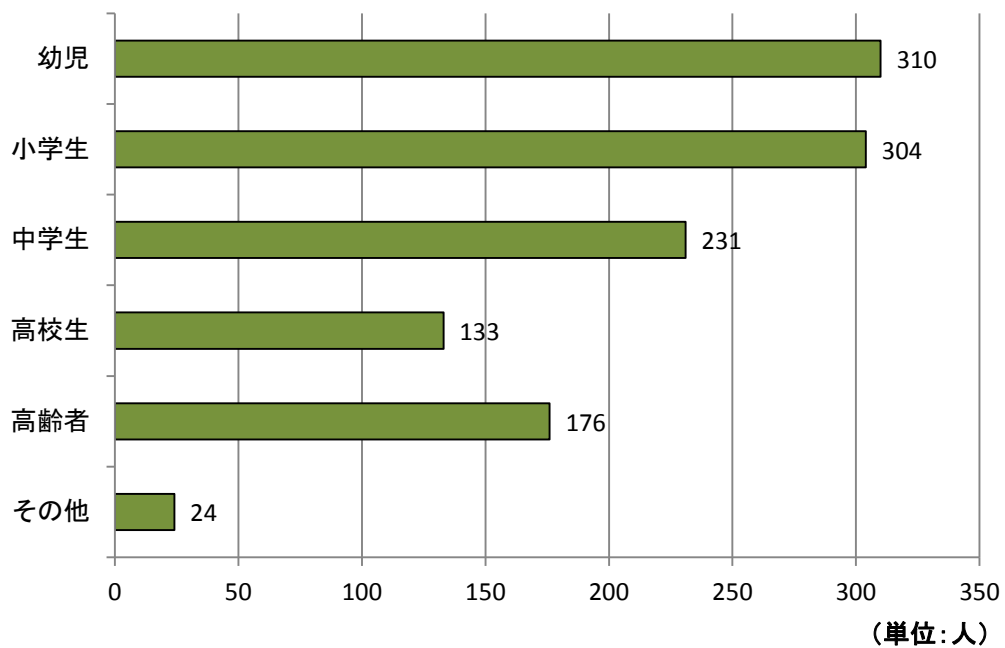
問 11 あなたは自転車に乗る時ヘルメットを着用していますか。(回答チェックは1つだけ n=346)

項目	人数 (人)	割合
1. いつも着用している	17	4.9%
2. 時々着用している	14	4.0%
3. ほとんど着用していない	36	10.4%
4. 着用していない(ヘルメットは持っている)	20	5.8%
5. ヘルメットを持っていない	174	50.3%
6. 自転車に乗っていない	85	24.6%
合計	346	100.0%



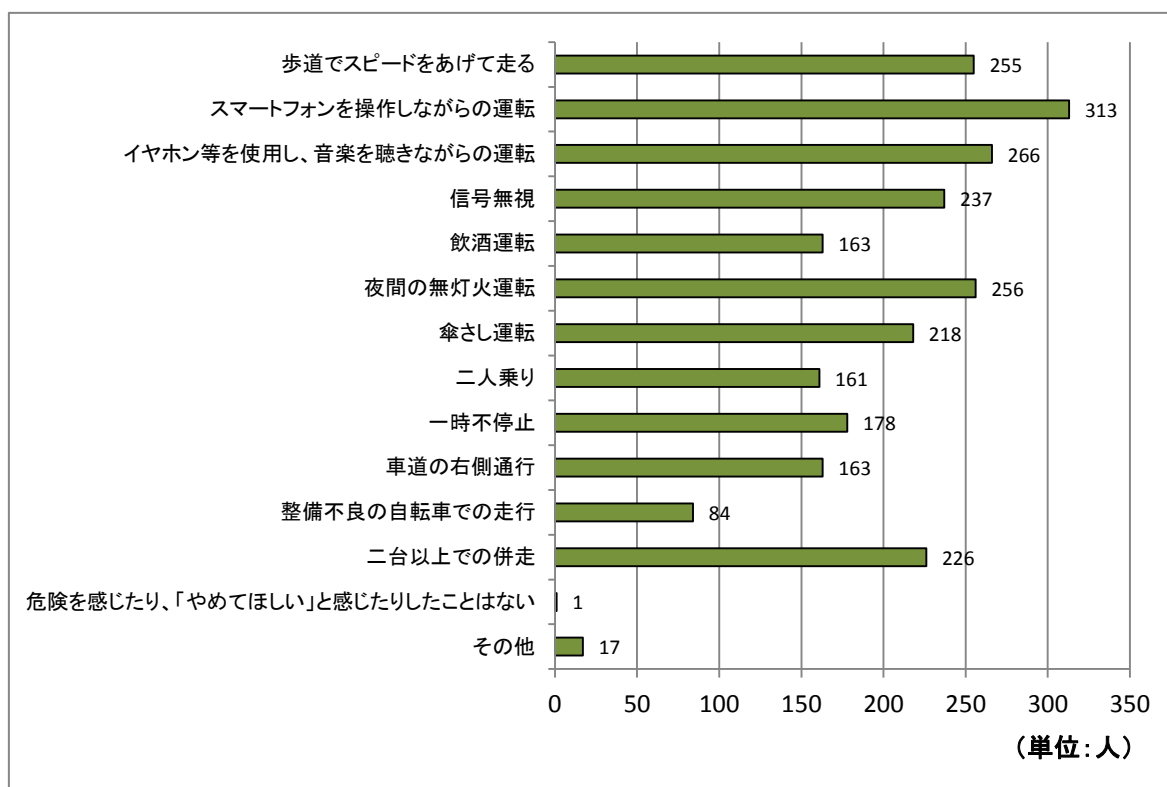
問 12 自転車に乗る際にヘルメットを着用した方がよいと考えるのはどのような人ですか。(回答チェックはいくつでも n=346)

項目	人数(人)	割合
1. 幼児	310	89.6%
2. 小学生	304	87.9%
3. 中学生	231	66.8%
4. 高校生	133	38.4%
5. 高齢者	176	50.9%
6. その他	24	6.9%



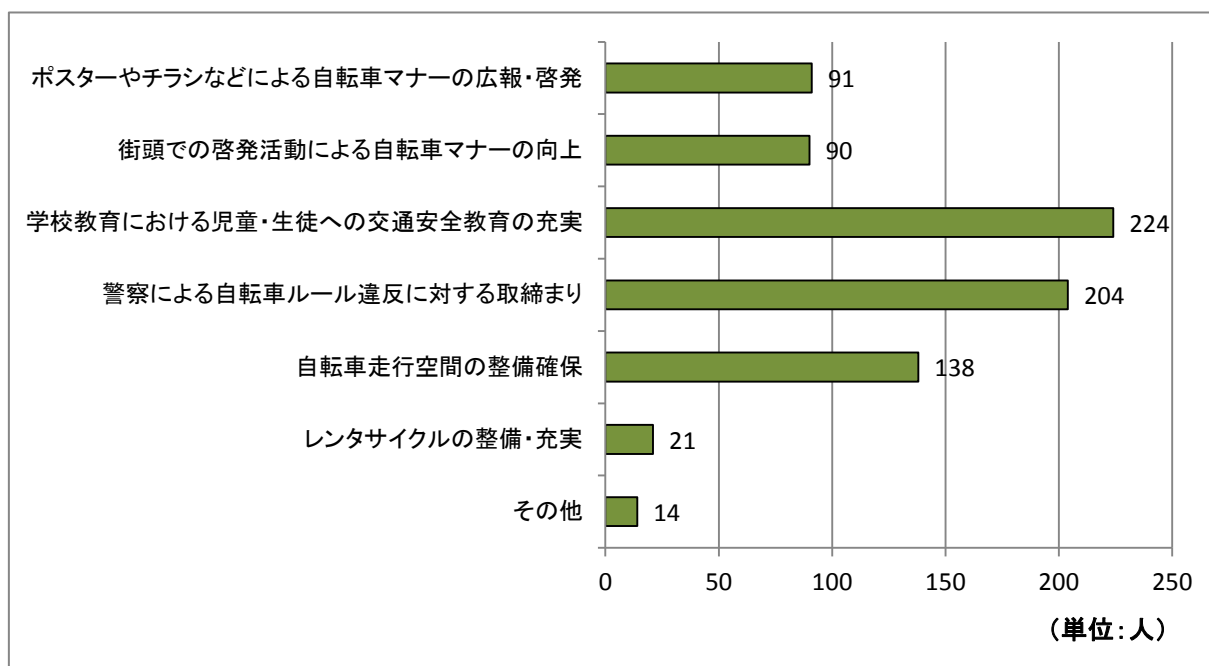
問 13 あなたは、他人のどのような自転車運転で危険を感じたり「やめてほしい」と感じたりしますか。（「13. 危険を感じたり、「やめてほしい」と感じたりしたことはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=346）

項目	人数（人）	割合
1. 歩道でスピードをあげて走る	255	73.7%
2. スマートフォンを操作しながらの運転	313	90.5%
3. イヤホン等を使用し、音楽を聴きながらの運転	266	76.9%
4. 信号無視	237	68.5%
5. 飲酒運転	163	47.1%
6. 夜間の無灯火運転	256	74.0%
7. 傘さし運転	218	63.0%
8. 二人乗り	161	46.5%
9. 一時不停止	178	51.4%
10. 車道の右側通行	163	47.1%
11. 整備不良の自転車での走行	84	24.3%
12. 二台以上での併走	226	65.3%
13. 危険を感じたり、「やめてほしい」と感じたりしたことはない	1	0.3%
14. その他	17	4.9%



問 14 自転車の安全利用を促進するには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。(回答チェックは3つまで可 n=346)

項目	人数(人)	割合
1. ポスターやチラシなどによる自転車マナーの広報・啓発	91	26.3%
2. 街頭での啓発活動による自転車マナーの向上	90	26.0%
3. 学校教育における児童・生徒への交通安全教育の充実	224	64.7%
4. 警察による自転車ルール違反に対する取締まり	204	59.0%
5. 自転車走行空間の整備確保	138	39.9%
6. レンタサイクルの整備・充実	21	6.1%
7. その他	14	4.0%



問 15 その他自転車利用について御意見がありましたらお聞かせください。

- ・学校教育における児童・生徒への交通安全教育が必要と感じます。
- ・交通ルールを守るように早くから啓蒙するとともに認識させる必要があると思います。
- ・大人が、ルールを知らないで、成人向けのルール周知をしてほしい。
- ・交通ルールを守るように早くから啓蒙するとともに認識させる必要があると思います。
- ・普段、自転車に乗っていて、自転車乗車時のルールを知らない人があまりに多いと感じる。車道の左側通行という基本的なルールを理解せず、右側を走行している運転者を見かける。
- ・自転車関連の法律は周知が足りていなかったり、あまり取り締まられないイメージがついているので、それに対する解決策があればマナー向上につながると思う。
- ・警察の取り締まりを徹底してほしい。
- ・イヤホンをつけて自転車に乗っている人が道の真ん中を走っていて、怖かった。
- ・傘をさしながらの運転は危なすぎます。
- ・携帯をさわりながらの自転車運転も前を見ていないから怖い。
- ・スマホを操作しながらの自転車乗車を厳しく取り締まってほしい。
- ・車道の左側通行を守るのが一番難しいと感じている。
- ・ヘルメットを着用するべきだと思うが、近距離だったり買い物程度だとどうしても大きさで面倒に感じてしまう。たとえば車のシートベルトのように必要性を大々的にPRしてもらえると意識が変わるかもしれない。
- ・ヘルメットをかぶっていたおかげで命拾いしました。子供たちの自転車にヘルメットは不可欠です
- ・バイクのように乗る時は必ず着用するようにするにはどうすれば良いか、やはり義務教育の間にしっかり身につけさせて着用が恥ずかしくないことを身にしみさせることではないかと思います。
- ・歩行者も自転車に乗る側になる時もあると思われるので、自転車を無視することは避けて欲しいです。お互い、怪我無く楽しく過ごせるようなマナーの向上が基本的に望まれます。
- ・ビワイチを推奨するなら、もっと自転車用の道路を整備してください。
- ・今までほとんど自転車を利用してこなかったもので、この機会に近場の移動から考えてみたいと思います。
- ・「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の中で、事業者による自転車交通安全教室の実施が努力義務とされているが、なかなか中小の企業における自主的な実施は困難なことと思う。県が主催する教室に積極的な参加を促すという方法も検討いただけないだろうか。教室を実施することで、安全運転の啓発や条例の周知にもつながると思う。